

トヨタ紡織、刈谷工場にオフサイト PPA サービスを導入 ～ 安定的、継続的な再生可能エネルギー活用を促進 ～

トヨタ紡織株式会社は、4月7日から刈谷工場に中部電力ミライズ株式会社のオフサイト PPA サービス^{※1}を導入しました。

本サービス開始により、再生可能エネルギー導入の4つの手段（オンサイト PPA、オフサイト PPA、バーチャル PPA、CO₂ フリー電気）^{※2}を全て活用したトヨタ紡織初の工場となります。

同工場は、2022年10月からCO₂フリー電気の導入により再生可能エネルギー実質100%を実現しています。将来、電力市場からの再生可能エネルギー購入への需要が高まる可能性を見据え、今回新たにオフサイト PPA を導入し、安定的、継続的に再生可能エネルギー100%を維持していきます。

また、使用する全ての電気（年間約3,160万kWh）を再生可能エネルギー由来にすることで、年間約13,300t-CO₂の排出量を削減しています。



オフサイトに設置した太陽光発電設

【今回新たに導入したオフサイト PPA サービスの概要】

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 電源種類 | 太陽光発電 |
| 2. パネル出力 | 310kW |
| 3. 契約期間 | 20年間 |
| 4. CO ₂ 排出削減量 | 170t-CO ₂ /年 |

トヨタ紡織グループは、ステークホルダーのみなさまとともに、子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な地球環境を目指し、地球環境に配慮した開発・設計、製品、生産、物流で環境負荷低減、生物多様性保全などに、一層取り組んでいきます。

※1 敷地外に設置した太陽光発電設備などから、電気を供給するサービス

※2 再生可能エネルギー導入の取り組みは、「TB's Biodiversity Initiatives 2024」8ページでも紹介しています

https://www.toyota-boshoku.com/_assets/dl/company/library/biodiversity_initiatives_2024.pdf

以上